

「Blue Print 2027」による成長を加速させ、
さらなる飛躍を実現する1年へ

代表取締役社長CEO

藤崎 慎一郎

第2四半期の業績は想定を上回り増収増益

2026年度第2四半期の連結業績は、売上高37,983百万円、営業利益7,082百万円、経常利益7,154百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は4,820百万円となり、前年同期比で増収増益を達成しました。ライフスタイルプロダクツ、モビリティ&エネルギーの両セグメントが想定を上回って好調に推移しました。デジタルプロダクツ事業では、GIGAスクール端末を含む新規ソーシング先の強化による流通台数増加が寄与、ファッションリセール事業では、円安によるインバウンド需要や株高による国内需要が継続し、BtoB事業、C向け事業ともに堅調に推移しました。またオートモビル事業では、中古車需要の高まりを背景に総成約／落札台数、検査台数が伸長しました。

連結業績予想および配当予想の上方修正、 特別優待の実施

ライフスタイルプロダクツ、モビリティ&エネルギー両セグメントが想定以上に推移したため、第2四半期までの好調を織り込み、連結業績予想および配当予想の上方修正を行いました。また、中期経営計画「Blue Print 2027」で掲げていたM&Aの進捗状況を鑑み、投資計画予算の半額である35億円を原資として特別配当の実施を決定しました。そのため、業績予想の修正に伴う配当金額の上昇と合わせると、期末配当金予想は61円となり、中間配当金21円と合わせて年間合計82円（前年同期比+53円）を想定しています。加えて、株主の皆様のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、より一層の株主還元を努めていくことを目的として、2026年9月2日時点の株主様を対象に、特別株主優待を実施いたします。詳細は当社HPをご参照ください。

競争優位性強化のために大切なこと

当社は創業以来、「本物主義」を理念として、お客様が安

心して取引できるよう4つのコアコンピタンス、「最適なシステム」「情報の信頼性」「運営ノウハウ」「会員制ネットワーク」を磨いてきました。厳正な検品やグレーディングによって商品情報を正確に付与し、物流や決済まで含めて安心して取引できる環境を整えることで、売り手と買い手の双方に価値を提供しています。その時大切なのが、お客様自身もまだ気づいていない「真のニーズ」を見つけることです。

取引の現場で何が不便なのか、どんな付加価値があれば循環がもっとスムーズになるのかを丁寧に見極め、改善策を深掘りし、強化することで競争優位を発揮できると考えています。

「Blue Print 2027」の着実な実行と上方修正

当社は、目指す姿「私たちは世界中のパートナーと共にサーキュラーエコノミーの未来を創造します」の実現に向け、4つのコアコンピタンスを磨き上げ、お客様の「真のニーズ」に応える事業基盤を構築してきました。

この強固な基盤と戦略が機能した結果、中期経営計画「Blue Print 2027」で掲げた定量目標を2年前倒しで達成する見通しとなり、2026年2月にはEBITDA目標を100億円から135億円へ、配当性向を40%以上から50%以上へと上方修正いたしました。今後は、競争優位性にビッグデータやAIを新たに掛け合わせることで、変化する市場環境の中でも期待を超えるサービスを提供し、さらなる企業価値向上に努めてまいります。

当社は、単なる二次流通のプラットフォームにとどまらず、世界中のパートナーと共に循環型市場を設計し、社会に新たな価値を届ける企業へと進化していきます。今後も、株主の皆様と長期的な成長を共有できるよう、事業の拡大、収益力の向上、そして還元の充実に取り組んでまいります。引き続きご期待とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

▶▶特別株主優待と中期経営計画については、特集・中期経営計画「Blue Print 2027」をご覧ください

第19期 中間報告書

2026年1月1日～6月30日



中期経営計画を2年前倒しで達成し、中期定量目標を上方修正。 株式分割と優待拡充で、投資魅力と株主還元をさらに高めます。

当社は、2025年2月策定の中期経営計画「Blue Print 2027」の各中期定量目標（EBITDA・ROE・配当性向）を2025年12月期に2年前倒しで達成しました。
これを踏まえ2026年2月に目標値を一部変更（上方修正）するとともに、株式分割の実施、株主優待の拡充により株主還元の一層の充実を図ります。

Q 「Blue Print 2027」で目指すのは？

A **さらなる飛躍のため中期定量目標を上方修正し、
サーキュラーエコノミーの未来を創造**

すべての価値あるモノが循環する社会を目指し、世界中のパートナーと共に、サーキュラーエコノミーの未来を主体的に創造していくという当社の目指す姿は変わりません。その指標であるGCV^{※1} 1兆円は、長期的な目標として引き続き掲げ、EBITDA^{※2}やROEなどの中期定量目標は2年前倒しで達成したため一部上方修正をしました。今後もさらなる事業成長に向けた取り組みを推進します。

※1: Gross Circulation Value（総循環型流通価値）の略で、当社の事業が経済と環境に与える影響を金額的に示した当社独自の経営指標

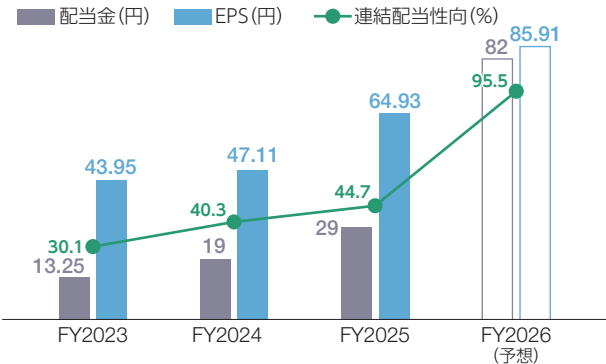
※2: EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費+持分法投資損益（のれんの当期償却額は除く）



Q 株主還元の方針は？

A **連結配当性向を「40%以上」から「50%以上」に変更**

将来の事業展開と経営体質の強化、設備投資等に備えた内部留保を確保しつつ、継続的な配当を実施します。株主還元をさらに強化するため、連結配当性向の方針を「40%以上」から「50%以上」へ引き上げました。
また2026年12月期においては、中期経営計画で予定していたM&A計画の進捗状況を鑑み、投資計画予算の半額である35億円を原資として、特別配当を実施します。



※配当金・配当性向は2026年4月1日付の株式分割（1株→2株）を考慮した1株当たり数値で記載。

Q 株式分割の目的は？

A **株式の流動性向上と投資家層のさらなる拡大を図るため**

投資単位当たりの金額を引き下げ、個人投資家をはじめ皆様にとってより投資しやすい環境を整えるため、2026年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しました。



Q 株主優待制度は変わりますか？

A **優待ポイントを拡充！一部ポイントを増額します**

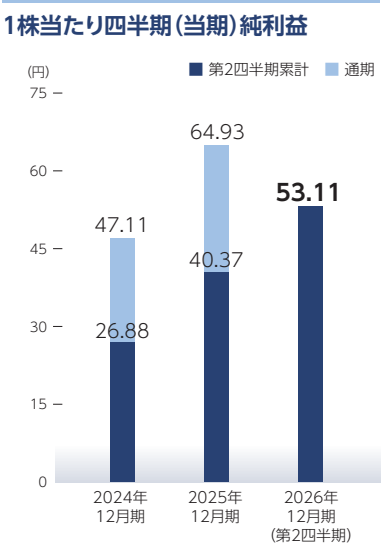
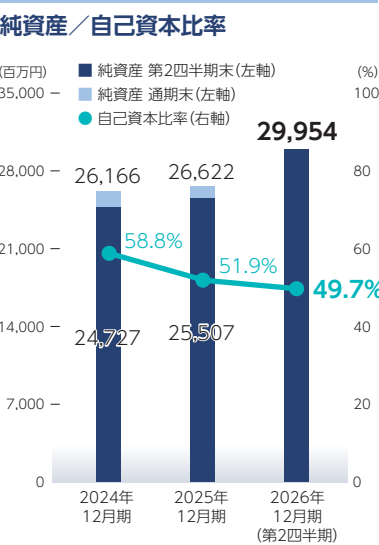
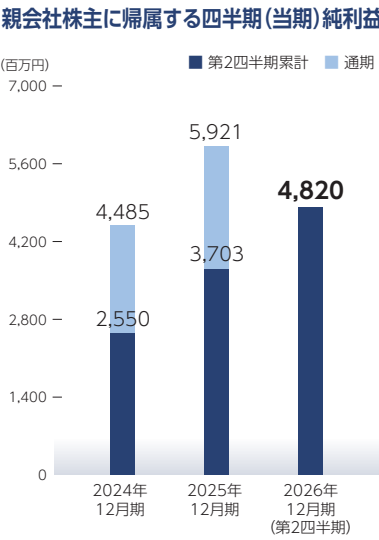
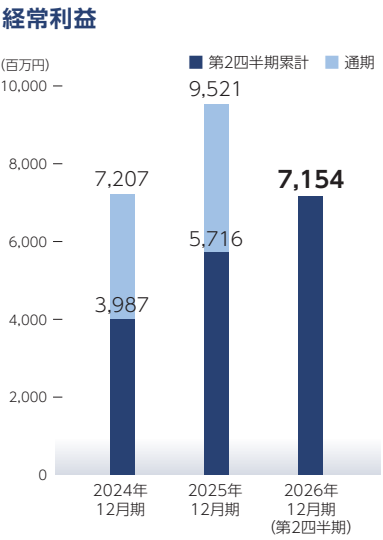
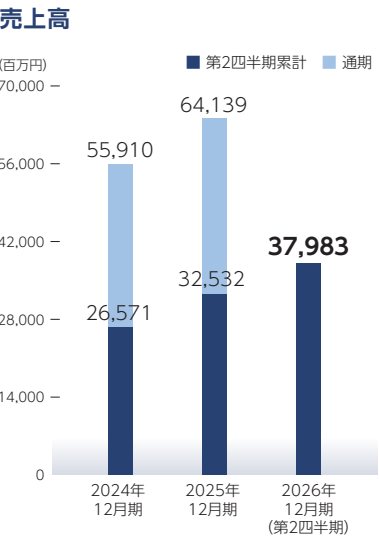
2025年12月末日以降の株主様より導入した「オークネット・プレミアム優待倶楽部」について、株式分割後も従来どおり3単元（300株）以上から進呈し、一部の保有区分でポイントを増額します。新たに電子マネー優待（Amazonギフトカード）を加え、5,000種類以上の商品からお選びいただけます（2026年12月末日現在の株主様より変更）。また、2026年9月2日時点の株主様を対象に特別株主優待を実施いたします。

2026年 年間株主優待ポイント表（特別株主優待+通常の株主優待）

保有株式数	特別株主優待 （2026年9月2日）	通常の株主優待 （2026年12月末日）	2026年 年間合計
100株～299株	1,000ポイント	—	1,000ポイント
300株～499株	2,000ポイント	2,000ポイント	4,000ポイント
500株～699株	4,000ポイント	4,000ポイント	8,000ポイント
700株～1,399株	8,000ポイント	8,000ポイント	16,000ポイント
1,400株～1,799株	17,000ポイント	17,000ポイント	34,000ポイント
1,800株～2,999株	20,000ポイント	20,000ポイント	40,000ポイント
3,000株 以上	40,000ポイント	40,000ポイント	80,000ポイント

（1ポイント≒1円）

連結財務ハイライト

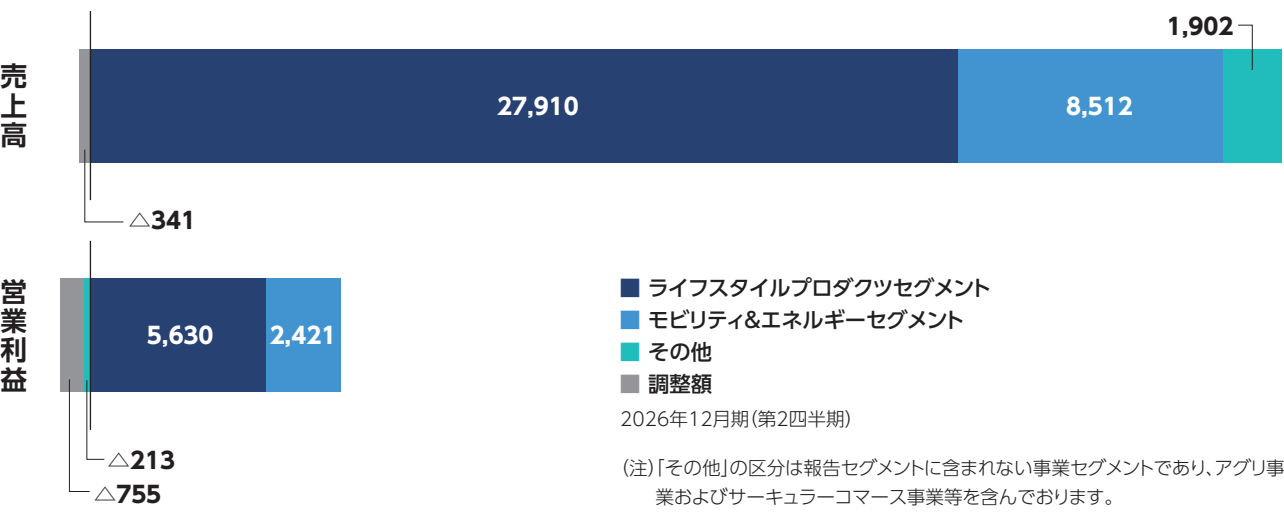


株主還元について

当社では、株主の皆様への利益還元を経営における最重要課題のひとつと位置づけています。将来の事業展開と経営体質の強化および設備投資等に備えた内部留保を確保しつつ、連結配当性向50%以上を目標として、継続的な配当を行うことを基本方針としています。

(注)当社は2025年4月1日および2026年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、1株当たり純利益は分割日以前についても当該株式分割調整後の数値を記載しています。

セグメントの状況 (百万円)



インフォメーション

会社概要		(2026年6月30日現在)
会社名	株式会社オークネット	
英文社名	AUCNET INC.	
創業	1985年6月29日	
資本金	1,807百万円	
連結従業員数	1,196名	
上場区分	東京証券取引所プライム市場	
本社所在地	東京都港区北青山二丁目5番8号 青山OMスクエア	
代表電話	TEL:03-6440-2500	

役員		(2026年6月30日現在)
取締役会長	藤崎 清孝	
代表取締役社長CEO 社長執行役員	藤崎 慎一郎	
取締役 専務執行役員	一井 克彦	
取締役 専務執行役員CFO	谷口 博樹	
社外取締役	梅野 晴一郎	
社外取締役	牧 俊夫	
社外取締役	塚本 恵	
取締役(監査等委員)	佐藤 俊司	
社外取締役(監査等委員)	半田 未知(佐々野 未知)	
社外取締役(監査等委員)	永井 幹人	

株式情報		(2026年6月30日現在)
発行可能株式総数	220,000,000株	
発行済株式総数	96,052,800株	
株主数	5,575名	

大株主		(2026年6月30日現在)
株主名	持株比率	
フレックスコーポレーション株式会社	40.7%	
株式会社Blue Peak	10.5%	
GOLDMAN, SACHS & CO. REG	5.2%	
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3.8%	
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS	3.4%	
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	3.2%	
株式会社ナマイ・アセットマネジメント	3.0%	
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE NON TREATY CLIENTS ACCOUNT	2.0%	
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1.9%	
株式会社オリエントコーポレーション	1.8%	

※所有株式数の割合は自己株式(4,036,042株)を控除して計算しております

株主メモ		(2026年6月30日現在)
事業年度	1月1日から12月31日まで	
定時株主総会	毎事業年度終了後3カ月以内	
剰余金の配当の基準日	期末配当	毎年12月31日
	中間配当	毎年 6月30日
単元株式数	100株	
公告掲載方法	電子公告により行う。ただし電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行う。	
公告掲載URL	https://ir.aucnet.co.jp/ja/announcement.html	
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社	
取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	

「統合報告書2025」を発行



オークネットでは、すべてのステークホルダーの皆様へ当社への理解を深めていただくために統合報告書を発行しています。

「統合報告書2025」では、幅広い読者のニーズにお応えするため、オークネットの概要や大切にしている考え方をわかりやすくまとめた「コンパクト版」と、経営・戦略から財務・非財務情報までを詳細に解説した「フル版」の2種類を制作いたしました。中期経営計画「Blue Print 2027」の進捗や、循環型マーケットデザインカンパニーとしての価値創造の取り組み、各事業の成長戦略等、記載内容の一層の充実を図っています。本報告書をきっかけに、ステークホルダーの皆様との建設的な対話を一層推進してまいります。

「統合報告書2025」は当社Webサイトでご覧いただけます
URL <https://ir.aucnet.co.jp/ja/ir/library/integratedreport.html>



東京都港区北青山二丁目5番8号
青山OMスクエア
<https://www.aucnet.co.jp>

